

硬い鉄をどうやって形にするの?

高熱で溶かしてから、
型に流し込んで形を作るよ。

「铸造(ちゅうぞう)」とは、砂で作った型に、
高熱でドロドロに溶かした鉄を流し込んで形
を作る方法だよ。お寺の鐘や大仏様などもこの
方法で作られているんだ。複雑な形の物や
大きな物も作れるから電車や船の部品にも使
われているよ。



社会になくてはならないモノづくり

ブルドーザーや大型ダンプトラックなど、働くクルマの部品や電車の部品などを作っています。何千年前の昔から使われてきた「铸造(ちゅうぞう)」という技術をさらに進化させて、大きくて複雑な形の鉄製品を作っています。ほかではなかなかまねできない高い技術で、みんなの生活を支えるモノづくりをしています。



建設機械部品

大型トラックの車輪の丸い大きな部品も作っています。



鉄道部品

電車のモーターの一部、ステーターフレームを作っています。



船舶部品

船の甲板にある大きな機械の部品も作っています。



大きな部品を作るための広い工場にはたくさん機械があって、みんな安全第一で働いているわよ。

はたらく人に聞いてみた!

INTERVIEW

製品がお客さまの要望通りにできているか確認をする「検査」を担当しています。失敗をしてしまうと大変な問題になるので慎重さが大切。日々の検査で問題のある製品を見つけて、良い製品だけを届けられた時にはやりがいを感じます。

第二生産部 センター長

菊地 巧さん



INTERVIEW

铸造した鉄製品を削って完成品に仕上げる「機械加工」をしています。図面通りに正確に作るのは難しいですが、自分が作った部品が世の中で使われているのはとてもうれしく、やりがいがあります。いろいろ工夫するのも楽しいですね。

機械センター センター長

掛札 悠哉さん



铸造の手順

1.模型製作



まずは作りたい製品とそっくり同じ大きさ、同じ形の模型を木を使って作ります。

2.造型



模型の中に固まりやすくした砂を敷き詰めて、しっかり固めて砂型を作ります。

3.注入



溶かした鉄を砂型に流し込む重要な工程です。職人の腕の見せ所です。

4.解体



鉄が冷めて固まったら砂型を崩して取り出します。表面に付いている砂も丁寧に落とします。

5.鉄仕上げ



機械を使って、製品に付いている余分な部分を取り除き、きれいに磨きます。

6.検査・塗装



余分な部分が残っていないか、厚みが合っているかなど、しっかりと検査してから色を塗ります。

ここにも
注目!!



【ベトナム工場】ベトナムでも日本と同じ製品を作っています。



地域に貢献している会社として表彰されました。

